

「子どもの現状」と「要因」に関するこれまでの意見集約

	学ぶ意欲	自尊感情	規範意識	体力
子どもの現状	【学習意欲の低下】 40年連続低下傾向にある。 気力がない。	【自信がない、自己肯定できない】 自分に自信がない、「自分は だめな人間」と考え、長所が言 えない子どもが多い。	【善悪の判断、思いやりのなさ】 善悪の判断ができていない。 弱いものへの思いやりがない。	【体力の低下】 体力は年々低下している。 全国平均と比較して低い。
	【学習意欲の格差】 学習意欲に差が生じている。	【夢や目標がない】 夢や目標をもてない。	【基本的な生活習慣の未定着】 しつけ等、基本的な生活習慣 が身につけていない。	
	【ねばり強さ、挑戦力のなさ】 苦勞せず課題を解決しよう、 自力解決せず安易に答えを求め ようとする。	【自発性、自律性の遅れ】 自己主張ができない等、自発 性や自律性の発達が遅れている。	【メディアへの対応の未確立】 有害情報の対応が不十分。	
	【受け身的態度】 言われたことしかしない。		【コミュニケーション、人間関係の希薄】 遊びがほとんどできず、人間 関係もうまく築けない。	
	【学習習慣の未定着】 学習習慣が身に付いていない。			
その要因	【学ぶことの意義】 「なぜ学ぶのか」という学ぶ 意義が子どもの中で確立されて いない。 上級学校に合格することを最 大の目標と考えている。	【ほめる、認める】 よい面をほめず、悪い面だけ を指摘し、直そうとする。 認める機会が少ない。	【大人の姿勢】 大人のマナーが悪いなど、社 会全体の規範意識が低い。 社会や学校が規律、責任を身 に付けさせていない。	【過保護、過干渉】 けがを心配して、子どものチ ャレンジ精神を押さえてしまう。
	【分かる授業】 学習意欲が低い理由の第1位 は「授業がわからない」である。	【社会貢献、挑戦、達成感】 人や社会に貢献する喜びや挑 戦した達成感などを感じる機会 が少ない。	【人間関係の希薄】 表層的で限られた人間関係。	【地域の安全】 社会の治安の悪さが子どもの 遊びの機会を奪っている。
	【結果平等】 全て平等で競争心がなくなっ ている。	【子どもを伸ばす気持ち】 親も夢ややりがい等、子ども を伸ばすという気持ちが少ない。	【親の養育態度】 深夜営業店の利用など、大人 の都合で、子どもの生活が守ら れていない。 子育てや躾などがわからない 親が増えている。	【学校の小規模化、子どもの多忙化】 学校の小規模化や子どもの生 活の多忙化で、遊ぶ仲間、場が 不足している。
	【過保護、過干渉】 先回り、手の出しすぎで、学 ぶ楽しさ、必要性を感じない。	【体験不足】 社会体験等が乏しく、過剰体 験と欠損体験がアンバランス。	【メディアの影響】 人を傷つける言動、情報の一 方通行等、TVの影響が大きい。	
	【親の意識・価値観】 学校がサービス業という意識。 親の学校に対する否定的な言 動と教師の自信喪失。	【過保護、過干渉】 自分の力が芽生える機会を十 分にあたえられないまま成長。	【地域コミュニティ】 親が地域への関心が低く、人 との関わりを面倒と感じている。	

「子どもの姿」と「取組の方向性」に関する意見の集約

	学ぶ意欲	自尊感情	規範意識	体力	
子どもの姿	<p>学ぶことの意義や内容を理解し、困難な課題にも粘り強く最後まで取り組む。</p> <p>自分の将来の目標をみつけようとしたり、もちたいと思ったりしている。</p> <p>未知の事柄に対して好奇心を抱き、積極的に学び取るようとする。</p> <p>自ら考え、自ら学ぶ力を身に付け、自主的に学習に取り組む。</p>	<p>自分の長所や短所を理解し、自らの力を信じて伸びようとする。</p> <p>集団への貢献を通して、自らが生きる意味や喜びを感じる。</p> <p>夢や希望をもち、その実現に向けて常にチャレンジしようとする。</p> <p>他人のよさを認め、自分の生活に取り入れる。</p>	<p>善悪の判断ができ、自らを律した行動ができる。</p> <p>他者を想定した行動、他者との協調・協働がとれる。</p> <p>コミュニケーションを通して、周囲と良好な人間関係を構築することができる。</p> <p>生活上のルールやマナーの必要性を理解している。</p>	<p>規則正しい生活の大切さを理解し、実践できる。</p> <p>自己の健康に関心をもち、高めることができる。</p> <p>スポーツに親しみ、適度な運動を日常的に実践し、体力の向上に努める。</p>	
取組みの方向性	学校	<p>体育祭・文化祭等の学校行事、学級活動などの自発的・自治的活動の重視。</p> <p>自己理解や他者理解を図る学習機会の充実。</p> <p>生徒理解の視点に立った教師の姿勢、態度の育成を図る研修。</p> <p>子どもが自分を肯定的に評価できる指導の確立。</p> <p>人命・人権を尊重する教育の推進。</p> <p>郷土の歴史上の人物や伝統文化等を活用した教育の推進。</p> <p>スクールカウンセラー制度の充実。</p>	<p>効果のある道徳教育や学級活動、歴史上の人物の教えを伝える教育等の充実。</p> <p>集団の一員としての自分の役割を果たし、他者と関わりながら共通目標達成を目指す体験の実施。</p> <p>学校、家庭でそれぞれ教えること及びその役割分担の明確化による両者の責任の共有化。</p> <p>集団宿泊体験活動の充実。</p> <p>生徒と向き合う時間の確保。</p> <p>学校長の方針として目的、使命、やりがいを共有する教育現場の改善。</p>	<p>部活動等への加入奨励。</p> <p>継続的な運動・スポーツ活動の機会と場の提供。</p> <p>健康についての正しい知識の指導。</p> <p>体力向上に向けたチャレンジの場の拡充。</p> <p>近隣の学校などとの合同活動の実施。</p> <p>山や海など、自然とふれあう体験活動の実施。</p>	
	家庭	<p>子どもが失敗しながらも成功を重ねる経験と親の待つ姿勢。</p> <p>「学ぶことの意義」「自分の将来設計」「人生」などについて話し合う環境づくり。</p> <p>PTA活動への積極的参加。</p> <p>テレビ視聴時間削減などによる望ましい家庭学習の習慣の定着と学ぶための家庭環境づくり。</p> <p>子どもの心に伝わる大人の生涯学習姿勢や目標をもった姿。</p>	<p>家族の一員としての役割の明確化と実践意欲を促す励まし。</p> <p>子どもにチャレンジする場の設定と見守り、声かけをする中で、ほめたり、励ましたりする取組。</p> <p>生き方のモデルとしての大人の姿。</p> <p>親子読書や会話など、家族として互いに認め、励まし、助け合う家庭環境づくり。</p>	<p>挨拶やマナー等の躾の徹底と他人の言うことを聞き入れ、受け入れる力の育成。</p> <p>幼少期に自己責任や親への尊敬と思いやり・感謝の心を育てる教育の実践。</p> <p>親の規範意識の向上がモデルとなり、子どもの正義感、社会のルールを理解する力の育成。</p> <p>有害情報への適切な対応。</p> <p>親子での地域ボランティアへの積極的参加。</p>	<p>子どもの外遊びや運動の機会の促進。</p> <p>正しい食習慣と基本的な生活習慣の確立及び家族ぐるみの健康維持活動の促進。</p> <p>家庭でスポーツに親しむ機会の設定。</p> <p>家族で健康の大切さ、有り難さを語り合う。</p>
	地域	<p>「人材バンク」の作成と地域人材を活用するためのシステムの構築。</p> <p>福岡県の海、山、自然とのふれあいなど、知的好奇心を高める様々な体験学習の機会や場の提供。</p> <p>大人の生涯学習の場と子どもの学習をつなぐためのコーディネーターの育成。</p> <p>地域に根付いている優れた活動への参加・県の支援と啓発・広報。</p>	<p>生活体験、社会体験への積極的参加と体験を通して、視野を広め自信をもつ機会の提供。</p> <p>地域活動への参加の呼びかけと地域の人々から評価される機会や場の設定。</p> <p>「回覧板」を活用した情報の共有と地域貢献に対する学校での表彰。</p> <p>準備からすべて自分たちで行い、やり遂げる楽しさを味わう新しい環境づくりと体験活動の充実。</p>	<p>子どもの公德心や社会規範に対する地域ぐるみの指導と賞賛。</p> <p>地域と学校が連携した定期的な事業の企画と地域人材を活用するシステム構築。</p> <p>家族を孤立させないボランティア組織、老人会、自治会との連携。</p> <p>通学合宿や幼児の自然・生活体験等の体験活動の場の拡充。</p>	<p>外遊びができる地域環境の整備。</p> <p>「健康」に関する講演会の実施。</p> <p>子どもの参加を促す地域スポーツ活動の充実。</p>

「福岡の教育」ビジョン（構成案）

「福岡の教育」ビジョン策定の背景

子どもの現状

課題の背景と思われる要因

本質的な課題について

めざす子ども像（事務局案 資料）

案1:福岡の子どもは

「意欲的に学び、志と思いやりの心をもった、たくましい子ども」に育てよう

案2:みんなで育てよう ふくおかの子どもたち

「学ぶ意欲のある子ども」「志をもった子ども」

「思いやりのある子ども」「たくましい子ども」

「福岡の子ども」を育てる「4つの視点」

視点1 学ぶ意欲をもたせる

「学ぶ意欲」について

子どもの姿

取組の方向性

視点2 自尊感情をもたせる

「自尊感情」について

子どもの姿

取組の方向性

視点3 規範意識を育てる

「規範意識」について

子どもの姿

取組の方向性

視点4 体力を向上させる

「体力」について

子どもの姿

取組の方向性

「福岡の教育」ビジョンの具現化に向けて

めざす子ども像（事務局案）

【委員からの意見】

考える力、心の力、学ぶ力を育てていくのが教育の基本。

企業経験から、一番大切なのは imagination と creativity、想像性と創造性。

グローバルシチズン：「相手のことを思いやり、自分のことを言え、人・地域のためにやるう」をつくる。

自分で何かを成し遂げようという意欲、自ら考えて判断できる力、チームワーク・コミュニケーションができる、規範意識のある人材

学ぶ意欲をもった、自信のある、モラルの高い子ども

目標像のキーワードとしては、「意欲をもつ」「志をもつ」「社会性」「自他（人やもの）を愛する」「真心」「遊びに夢中になる」「相手を思いやる」

「たくましい」（強い心と体）・・・追加意見

キーワード「学ぶ意欲」「志」「思いやり」「たくましさ」

【事務局案】

（案1）福岡の子どもは

「意欲的に学び、志と思いやりの心をもったたくましい子ども」
に育てよう。

（案2）みんなで育てよう ふくおかの子どもたち

学ぶ意欲の
ある子ども

志をもった
子ども

思いやりの
ある子ども

たくましい
子ども

キーワードの説明

【学ぶ意欲のある子ども】とは、・・・

（事務局案：面白いから取り組むだけでなく、たとえ困難であっても学ぶことの意義や価値を自覚し、粘り強く取り組む心と力をもった子ども）

【志をもつ子ども】とは、・・・

（事務局案：身近な目標や将来への夢をもち、その目標に向かって努力し、行動する子ども）

【思いやりのある子ども】とは、・・・

（事務局案：自分を大切にし、同じように他人等を大切にする。相手の立場や気持ちを理解し、真心と人間愛にあふれた子ども）

【たくましい子ども】とは、・・・

（事務局案：基本的な生活習慣を確立し、健康な心と体をもった子ども）

	教育改革に関する取り組みの事例	地域、保護者と共に取り組んだ事例
都道府県・市区町村	横浜市	小平市
名称	横浜教育改革会議	21 こだいらの教育改革アクションプラン
子ども像 教育の目標	「市民力」と「創造力」を兼ね備えた、未来を担う「市民」の育成	知性、感性、道徳心や体力をはぐくみ、人間性豊かに成長することを願い 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間 社会の一員として、社会に貢献しようとする人間 自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間
取組、方策等	<p>7つの視点</p> <p>自ら考え判断し、行動できる力を育む教育の実現 しっかり教えしっかり引き出す指導観の再確認 学校を開き自律・分権・地域参画型の学校運営の実現 マネジメント能力の向上による学校の“チーム力”の向上 家庭と学校の役割の再確認、相互による子どもの成長の支え合い 横浜の教職員であることの魅力の向上 “現場主義”で保護者・地域の期待に応える教育行政</p> <p>13の重点プラン</p> <p>「横浜版学習指導要領」の策定 市民・創造科(仮称)の創設 読解力の向上 小中学校一貫英語教育の推進 新たな情報教育の推進 子どもの実態把握と確固たるデータに基づく教育の推進 横浜から創る新たな特別支援教育 学校版マニフェストの策定と学校評価・情報発信の推進 保護者・地域の学校運営への参画推進 教育の原点としての家庭教育の再興 学校マネジメント力の強化 教師力の向上 分権型教育行政組織の再構築</p>	<p>開かれた特色ある学校づくり</p> <p>市内一斉学校公開週間の実施 教科などの基礎・基本の確実な定着 道徳教育の一層の充実 総合的な学習の時間の充実 学校経営協力者および学校経営協力者会議の全校設置 学校支援ボランティアの積極的導入 小平市教育情報ネットワーク(こげらネット)の充実</p> <p>世代を超えたコミュニティづくり</p> <p>家庭教育の支援 学校と家庭、地域社会との交流・連携 郷土の歴史と文化の普及 成人市民対象の「IT講習会」の開催 世代を越えた学習、ふれあいの拠点づくりの推進 体育施設の整備と各種イベントの開催 利用しやすい図書館を目指します</p> <p>地域の教育力の回復と地域住民の学校支援ボランティア、コーディネータの育成 学校を拠点にした学校支援ボランティア養成講座等の企画 知識、知恵、技術、経験を教育活動に提供する教育サポート活動 学校の施設や校庭等の環境整備への協力、行事への参加 地域社会で体験的に学ぶ機会や技術等を提供する地域教育サポート活動 学校と地域をつなぐコーディネータの育成</p>

は、特色ある取組

	教育改革に関する取り組みの事例	地域、保護者と共に取り組んだ事例
都道府県・市区町村	京都市	三鷹市
名称	京都市の教育改革	三鷹市教育ビジョン策定助言者会議
子ども像 教育の目標	学校・家庭・地域ではぐむ京都の子ども	「人間力」と「社会力」を兼ね備えた子ども 自分を愛し、他人を愛せる 基礎的な学力が備わっているうえ、自ら積極的に学び続ける意欲をもつ 善悪の判断ができ、自ら主体的に考え、判断し、行動し、責任を負える 様々な人と適切なコミュニケーションを取ることができる 地域社会、広い社会、国際社会に一員としての自覚をもち、社会をよくするために、積極的に行動することができる
取組、方策等	<p>学力向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小1～中3までの悉皆による学力テストの実施、活用 ・学習指導要領を超える市独自の「京都市版学習指導要領細案」 ・夏休みの短縮、入学式等の前倒しによる205日以上の授業日数 <p>市民ぐるみの道徳教育の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「京都市道徳教育振興市民会議」の実施 <p>体力・運動能力向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校「休日地域児童スポーツクラブ」の実施 ・中学校「合同部活動、ブロック内選択制部活動、外部コーチ派遣」 <p>教師の指導力の向上</p> <p>養成：洛南高等学校に教員養成学科を開設、京都教師塾の開設 採用：PTA、ボーイ・ガールスカウト指導者、企業代表者を面接官に 研修：総合教育センターを夜9時まで開館 自己研修・研究計画書の全教員作成 カリキュラム開発支援センターの開設 評価：教育実践功績表彰制度、スーパーティーチャー制度の導入 指導力不足教員への厳正・公正な対応（10年間で120名退職勧告）</p> <p>家庭の教育力向上：「家庭学習の手引き」「京都おやじの会連絡会」</p> <p>地域の教育力向上：「みやこ子ども土曜塾」「ジュニア京都検定」</p>	<p>安心と信頼のある学校～0歳から15歳までの「連携教育の確立」</p> <p>幼稚園・保育園と小学校の連携 新しい義務教育学校（小・中一貫教育校）の全市展開 基本的な力をつけるための多様な学習機会の提供 様々な子どもの状況に応じたきめ細やかな教育支援</p> <p>自律した学校～教育委員会の在り方の見直しと自律と責任ある学校～ 校長の学校経営ビジョンに基づく特色ある学校づくり コミュニティ・スクール制度の導入 意欲ある、三鷹市にふさわしい教員の配置 教員のキャリア支援と研修プログラムの充実</p> <p>地域と共に創る学校～地域力の向上と学校を核としたコミュニティづくり～ 地域の参加による学校の共創（NPOによる教育活動支援） NPO・企業・大学・研究機関などとの連携 地域社会の拠点としての学校づくりの推進</p> <p>情報共有のためのモニタリング（計画・実施・点検・改善）システム</p> <p>三鷹市立第四小学校「夢育支援ネットワーク」（NPO法人による学校支援） ・コミュニティティーチャー：専門的な知識・技術を生かし、教師と協力した授業 ・学習アドバイザー：様々な授業や学校行事等の教育活動の指導補助 ・きらめきボランティア：家庭や地域の人が趣味や特技を生かした課外選択クラブ</p>

は、特色ある取組

	教育改革に関する取り組みの事例	地域、保護者と共に取り組んだ事例
都道府県・市区町村	世田谷区	杉並区
名称	世田谷区教育ビジョン	杉並区教育ビジョン
子ども像 教育の目標	「せたがやで育てる世界にはばたく子どもたち」 ひとの喜びを自分の喜びとし、ひとの悲しみを自分の悲しみとすることのできる子ども 生きることを深く愛し、自らを高めようとする志をもつ子ども 日本の美しい風土によって生まれ伝えられてきた日本の情操や文化、伝統を大切に継承する子ども 深く考え、自分を表現することができ、多様な文化や言語の国際社会で、世界の人々と共に生きることのできる子ども	未来を拓く人を育てる 自分たちで自分たちのまちをつくる人々の力を育成する
取組、方策等	<p>地域とともに子どもを育てる教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域教育基盤の整備 「地域運営学校」の設置 学校外部評価制度の推進 勤労観・職業観を育てるキャリア教育の推進 区内大学との連携 <p>未来を担う子どもを育てる教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育特区による教科「日本語」の実施 道義教育・情操教育の推進 夏季休業中の授業日の設定 特別支援教育の推進 幼児期にふさわしい教育の推進 <p>信頼と誇りのもてる学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> せたがや教員塾の創設 学校経営塾の創設 せたがや版学校マネジメントシステムの導入 <p>教育環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校適正配置等の推進 新しい学校改築の方針 学校施設安全性の向上 <p>教育委員会の改革</p> <ul style="list-style-type: none"> 開かれた教育委員会の推進 新しい教育制度への対応 	<p>学校選択制：学校間の切磋琢磨と地域との密着、課題は風評選択</p> <p>民間校長採用：自由と責任といった私学の精神と競争原理を学校に吹き込む</p> <p>ゆびとま制度：校長による教員の公募と教員の応募</p> <p>杉並区師範塾：教員の養成と採用</p> <p>採用システム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独自の財源による教員採用と採用後の育成 <p>教育成果のモニタリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客観性の確保と複数のテストの結果の差による信頼性の揺らぎ <p>自立・自律の学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育職員養成プログラム(経験年次に応じた研修、特別経営研修) ・教師の指導力向上(表彰、認定講師、授業評価) ・学力・体力の調査(改善計画を学校経営計画に確実に反映) ・学校の第三者診断 ・学校支援基金の設立(自己資金で自立した学校づくり) <p>地域の教育力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育基本条例の制定 ・地区教育委員会(中学校区で地域の教育課題に取り組む地域づくり) ・学校支援本部(学校サポートの住民組織 授業補助、芝生管理、部活) ・杉並教育会(教職員研修、授業研究、教材開発等) ・包括外部委託(調理、警備、通学安全、施設整備等) ・地域貢献活動(地域大学、大人塾)

は、特色ある取組